

「流水腐らず」、入居してもこれまでと同じ 生き方をしています

神戸（ゆうゆうの里） 井之上作三様（83歳）

令和3年11月 一人入居

高校3年の時に測量士補に合格。
生涯の仕事のきっかけに

鹿児島県生まれの13人兄弟で兄貴は9つ年上。早生まれで同学年でもどちらかというと控えめな性格でした。中学一年の時、「作三くん。数学のテスト、クラスで一番だったよ」と先生にそつと褒めてもらい、それから数学が好きになりました。高校は理工系の採鉱科に進みました。そこに測量の科目があるのです。小学校の時に読んだ伝記の伊能忠敬の記憶が残っており、測量士になりたいと思いました。測量の先生から国家試験

の測量士補の受験を薦められて挑戦。高校三年で合格したのです。測量は「学問で言えば数学、仕事としては誤差論」と言われます。誤差の出入にに応じてどう処理するか、とことん追求するのですが、そこにやりがいを感じました。高校時代将来の方向性が固まって行く手応えを感じました。

地図づくりの会社経営も、
武道も極めたい

最初の就職先は、父が脳梗塞で倒れたため家の手伝いをする事になった退社。その後測量業界の大手3社と呼ばれる会社に就職が決まりました。今の私があるのはこの会社のおかげです。その子会社にパソコンで地図を作る会社がありましたが、経営不振となり、私は常務としてその会社に出向し再建にあたることになりました。経営の基本「入るを量りて、出ずるを制す」を徹して、3年で借金を返済することができました。おかげで、その会社の社長に就任することができ、好きな測量と地図づくりを続けることができました。

仕事軌道に乗って60歳の時に合気道を始めました。7年続けて二段を取得してから膝を痛めたので断念。代わりに膝を使わなくて済む太極拳を始めることに。一つ位は一番上を取りたいと続け、師範を取得できました。

ホームのことは退職前から
考えていました

子供がいないので、いずれはこういうホームに入ろうと、退職する前から考えていました。猫を飼っており、最初はペットと一緒に入居できるホームを検討しましたが、希望の施設はなく条件から外しました。《ゆうゆうの里》以外にも、数施設各2・3回ずつ見学をしました。ここに決めた理由の第一は、育った環境とよく似て自然豊かだったこと。それから一坪農園やグラウンドゴルフ、トレーニングジムなどの設備があり、入居後の楽しみが想像できたことかな。猫を見送ってからとなったため、入居は予定より2、3年遅くなりました。その間にマンションを片付けながら、目星をつけていた今の部屋が空くの待ちました。契約日は誕生日。誕生日に新しい自分になる「けり」をつけました。

グラウンドゴルフは
3つのグループに所属

週に5日、午前中はグラウン

ドゴルフです。入居前は週二回でしたが増えましたね。今、私はグラウンドゴルフだけで3つのグループに所属しています。自分が上手になりたい気持ちもあるが、それぞれのグループに特色があって、色々な人と付き合えるから面白い。グラウンドゴルフが終わると、昼からは貸農園の畑仕事に庭仕事。雨が降ればグラウンドゴルフはお休みになるので、正直なところ、たまに雨が降って欲しいと思うことも。でも一度休み出すと癖になるから、私は極力休まないようにしています。近隣の「しあわせの村」の月二回の試合も全部参加。私は日本グラウンドゴルフ協会の普及指導員もしています。普及指導員の資格があれば人にもきちんと教えることができます。里へ来てから忙しい目に合っています。「流水腐らず」の通り、動いていたら停滞しないし何とかなると、昔からそう思ってたので、入居しても、その通りに生きています。



週5日、グラウンドゴルフを楽しむ井之上様

